

今がチャンス！ 早いほど得する带状疱疹ワクチン接種

日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

早めに打つことをおすすめ 带状疱疹ワクチン

「もう2年にもなるのに夜中に電気が走るような痛みが急にきて眠れません」
これは、带状疱疹後神経痛に悩まされている実際の患者さんの声です。

带状疱疹は、発症初期1〜2日以内に抗ウイルス薬を内服すれば神経痛が起ることは少ないのですが、初期は痛がゆい感じを伴った発疹だけなので、虫さされなどと区別がつかなくて治療が遅れることがよくあります。抗ウイルス薬の投与が遅れると、前述の患者さんのように発疹は治っても神経痛が年余にわたって

続くことがあります。これを予防するのに最も良い方法は、ワクチンを接種することです。

带状疱疹ワクチンには不活化ワクチンと生ワクチンがありますが、効果は大きく違うので不活化ワクチンをお勧めします。

不活化ワクチンは1〜2カ月空けて2回打つ必要があります。その予防効果は97%と10年以上にわたってほぼ発症しません。副作用は注射部位の疼痛や筋肉痛を認めますが、数日以内に消失します。ただし、2回接種しないと十分な効果がでないため、6カ月以内に必ず2回目を打ってください。

一方、生ワクチンの予防効果は50%と大きく差があり、効果の持続も短く、5年で25%に低下し、8年でほぼ効果はなくなります。ただ、不活化ワクチンは2回で4万円と、生ワクチンが1回のみで8千円程度であるのに対し高額です。

日野町は全国でも第2位の 安い自己負担額

しかし、心配はいりませ

ん。日野町では2回で1万円ポッキリです。後は町が補助してくれます。この助成制度は2022年4月から開始されました。2023年からは多くの自治体が助成制度を開始し、檜原村が自己負担0円なので全国第2位の安い自己負担です。本年度からは江府町、日南町も同様の助成が行われており、日野町の住民は大変優遇されています。私は今年の6月と8月にワクチンを打ちました。日野町に住んでいても住民票は米子市なので、泣く泣く全額自費で4万円を支払いました。

では、どのような人が打つべきでしょうか。50歳以上の人ならどなたでも打つた方が良いのですが、糖尿病や心不全、慢性腎臓病、肝臓病、肺疾患、がんで抗癌剤を使う人、リウマチなどの膠原病のある人は免疫が低下しているので、できるだけ早く打つことをお勧めします。今年からは、このようななかからやすい患者さんは18歳以上から打つことができるようになりました。

時々、「私は一度带状疱疹になったから打たなくていい」と言われる人がありますが、一度かかった人はむしろ再発しやすいのでぜひ接種してください。不活化ワクチンは免疫を活性化させる薬を混ぜてあるので、本物のウイルスよりも免疫力を高める効果が強いのです。

带状疱疹後の神経痛になると何カ月も何年も通院し、痛み止めの薬を飲み、何倍ものお金と苦痛に耐えなければなりません。それを考えると決して高い出費ではないと思います。日野病院に受診した折に、ぜひご相談ください。

